詫間中学校学校通信　　Step by Step　～詫間の主役はわたしたち～

浦島伝説

令和元年５月２０日
第 ６ 号

全力で体育祭を成功させよう

～頑張ってきた自分のために　支えてくれる人のために～

「にぎやかでええよ。毎年、ソーランの踊りだけは見にいっきょるんです。今年も楽しみです。」

これは、２日前に、詫間中学校のご近所の方からいただいた言葉です。早朝から大きな声や音楽で迷惑をかけていることをお詫びしたところ、このような温かい励ましの言葉をいただきました。

また、同日、松崎小学校の運動会でも、「中学生がよく挨拶をしてれます。２～３人のグループがたて続けに元気な挨拶をしてくれるんで、私も元気が出てくる。うれしいことです。」と、喜びの声をいただきました。このように地域の方々が皆さんのことを大切に思い、陰ながら支えてくださっていることを私たちは決して忘れてはなりません。

そして、だれよりも皆さんのことを大切に思い、朝練習に遅れないよう早朝から身の回りの世話をしてくれている家族にも、感謝の気持ちを伝えなければなりません。何よりの恩返しは、体育祭の一つ一つの場面で精一杯頑張る姿を見せることです。本番まであと５日。全力で練習に取り組みましょう。

● 練習風景 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

奉仕の心が美味しい給食に

５月１５日（水）放課後、１年生４１名が、空豆のさや取りボランティアに参加してくれました。「さやがきれいにむけると何か気持ちいいなあ」と、楽しく語り合いながら作業に取り組みました。調理員の秋山さんや、スクールカウンセラーの古川先生も加わり、たくさんの人たちのお陰で、予定の時間よりも早く作業が終了しました。今が旬の空豆ですが、家庭でいただく調理法とは少し違ったカレー味の天ぷらとなって翌日の給食に登場しました。４１名の皆さん、「奉仕の心」という最高のスパイスが効いた美味しい給食を、本当にありがとうございました。